「新聞を活用しながら主体的に学ぶ子ども」～探究的な学びをめざして～

指定校１年次　茅野市立永明小学校　折井　建太、伊藤　悠悟

（１）本年度のＮＩＥ活動の概要

研究指定校１年目の実践として、本年度の全校研究テーマである『つむぎ合いながら、主体的に学ぶ子ども～「個別最適な学び」と「探究的な学び」の充実をめざして～』を受けて、NIE 部会では、新聞を活用する場面や方法を工夫することで、学びを自分事にさせることができれば探究的な学びにつなげることができるのではないかと考えた。部会で NIE について学ぶ中で、新聞の活用の仕方は様々なものがあり、どの教科でもどんな場面でも使うことができそうだと感じた。そこで、新聞をさまざまな場面で活用しようと模索しながら実践をしてきた。また、出前授業をしていただいたり、複数の新聞を購読（多い月では８紙）したり、信毎データベースを活用したりして、授業で活用したい新聞が身近なものになるようにした。

（２）本年度のＮＩＥ活動をはじめる前の状況

本校は全校児童 519 名、21 学級（内特別支援学級４）である。本年度から、新校舎での生活がスタートした。新校舎は施設一体型の小中学校である。特に、図書館を含めたメディアセンターは、小学生と中学生が共に利用することから、本の量も多く新聞コーナーも以前の校舎に比べ何紙も置くことが可能である。新聞を手に取る児童も増えている。新聞は、職員用に一般紙２紙、児童用に１紙を購読している。また、以前から実施していた学校司書による新聞クイズコーナーも継続して行っている。ただし、職員も児童も新聞に興味をもって読んだり、授業に取り入れたりということを積極的に行ってきているわけではなかった。そこで、NIE 部会の職員が新聞を活用した授業を試みた。また新校舎になり廊下も広くなったので、４年生と６年生の廊下に新聞閲覧台を設置し、児童がいつでも新聞に触れることができるような環境にした。

（３）ＮＩＥ活動のねらい（育てたい力）

全校研究テーマは『つむぎ合いながら、主体的に学ぶ子ども～「個別最適な学び」と「探究的な学び」の充実をめざして～』である。このテーマで目指しているのは、１時間もしくは単元を通した授業の中で、自分の考えを広げ深め、自身の学びや変容を自分の中に意味づけられるような子どもである。その目指す姿に向けて、NIE 部会では、まず、新聞を活用する場面や方法を工夫することで学びを自分事にさせたいと考えた。

（４）公開授業以外のＮＩＥの取組の状況

①図書館には

新聞を置き、児童生徒が新聞に親しむ機会を多くしている。また新聞クイズコーナーを設け、楽しみながら新聞を読む機会を増やしている。本年度は、多い時には毎日８紙の新聞が届けられ、読み比べをすることができるようにしている。

②各教室には

新聞台が設置され、図書館でなくても新聞を自由に閲覧できる機会を増やしている。

③昇降口には

校長先生が気になる記事を使って掲示物を作成し、新聞そのものでなくても新聞記事に興味をもつ場を設けている。

学校司書が、「今日のトップニュース」を掲示し、新聞への興味を引き出している。

④各学年

（１年生）新聞を使って工作をし、書かれている漢字やカタカナに目を向けながら、新聞に親しむことができた。（図工）

（２年生）新聞を使った言葉探しを行い、語彙を広げた。（国語）

（３年生）新聞を使って大きな数探し（算数）、新聞社に協力してもらい、新聞の読み方を学習しながら、気になる記事を読んだ。（国語）

（４年生）新聞社に協力してもらい、取材の仕方、新聞の書き方を教わった。（総合的な学習の時間）

（５年生）新聞社の協力のもと、新聞の構造、新聞の書き方を教わった。（国語）

（６年生）データベースを活用し、気になる記事をパソコンでも閲覧できるようにした。（理科）

（５）公開授業などの活動内容

第４学年　総合的な学習の時間

「君が新聞記者！取材を通して人々の思いを感じ、記事にして伝えよう！」

①　単元展開

学習活動	内容
麦の収穫 ７月１９日(金)	・麦を収穫し、干して乾燥させる。
今後の活動に向けて ８月２７日(火)	・麦を使ってパンを作るために、これから必要なことを話し合う。
出前授業「取材の仕方」 ８月２９日(木)	・信濃毎日新聞社の方の出前授業で「取材の仕方」について学習し、取材の練習をする。取材のときに一番聞きたいことを詳しく具体的に聞く方法を学ぶ。
取材活動 ９月４日(水)	・小麦を扱った商品を提供している店に行き、「取材の仕方」をもとにしてグループごと取材を行う。
取材のまとめ ９月６日(金)	・「取材の仕方」を意識して、取材内容をグループごとまとめる。 ・報告ができるよう、短い文章にしてまとめる。
取材の報告会(本時) ９月１１日(水)	・パン屋やカフェで働く人たちがどのような思いやこだわりをもって仕事に向き合っているかを考え、取材内容を報告し合ったり、その内容について自分の考えを伝え合ったりする。 ・パン屋やカフェで働く人たちの思いやこだわりを理解し、今後の活動をどのようにしていくかについて自分の考えを深める
新聞記事の作成 ９月１３日(金)～	・取材してきたことをもとに新聞記事を作成し、発表し合う。

② 本時の主眼

パン屋やカフェで麦を使った商品を提供している方々へ取材をした児童が、そこで働く人たちがどのような思いやこだわりをもって仕事に向き合っているかを考える場面で、取材内容を報告し合ったり、その内容について自分の考えを伝え合ったりすることを通して、麦の大切さやパン屋やカフェで働く人たちの思いやこだわりを理解し、今後の活動をどのようにしていくかについて自分の考えを深めることができる。

③ 本時の展開

段階	学習活動	◎予想される生徒の反応	・教師の支援　評価	時
導入	1　本時の学習問題を確認する。 【全体】	◎麦を使っているお店に行ってどんな仕事をしているか聞いてきた。 ◎働くときに大事にしていることはなにか教えてもらった。 ◎前回取材内容をみんなでまとめたね。	・前時の活動を振り返り、取材の目的を共有しながら学習問題を確認する。	5
	学習問題：パン屋やカフェで働く人たちはどのような「思いやこだわり」をもって仕事に向き合っているのだろう。			
	2　取材の様子を簡単に確認し、学習課題を設定する。 【個人・全体】	◎いつもパン屋さんが気をつけていることを教えてもらった。 ◎他のお店の人の話も聞きたい。	・自分が取材していない店のことを聞くよう促し、取材内容を共有できるようにする。	5
	学習課題：取材内容を報告し、それについて自分の考えを伝え合うことで自分の考えを深めよう。			
追究	3　自分が取材していない店のことを聞いたり、自分が取材してきた内容を発表し合ったりして共有する。 【グループ･全体】	◎ベーカリーぞうさんは「信州産の小麦」を使っているそうです。良い小麦を使うことを大事にしていると話してくれました。 ◎スプーンは安心安全で病気になりづらい体になるためのパンを作っている。毎日研究していると話していたので、自分たちももっといろいろなことを調べたい。 ◎チロルは地元の食材を使ったお菓子をつくることを心がけているそうです。	・出前授業「取材の仕方」のポイントを提示し、５Ｗ１Ｈを明確にして報告できるようにする。（ＮＩＥ） ・事実と感想を分けて報告するよう促し、取材内容が正しく伝わるようにする。（ＮＩＥ）	25
終末	4　共有した内容について自分の考えをまとめ、発表する。 【個人・全体】	◎自分の取材したお店は長野県で作られた小麦を使っていて、良い材料を使うことを大切にしていた。自分たちの麦も大事にしたい。 ◎小麦からパンになるまでとても大変だと分かった。お店によって大事にしていることがちがっていた。自分たちの麦もしっかりと管理していきたい。 ◎収穫した麦をこれからどうやってパンにしていくか調べたり、また取材したりしながら活動したい。	**麦の大切さやパン屋やカフェで働く人たちの思いやこだわりを理解し、今後の活動をどのようにしていくかについて自分の考えを深めることができたかどうかを、発言・つぶやきや学習カードの記述から評価する。**	10

NIE の視点

・出前授業の「取材のしかた」をもとにして取材してきた内容を報告し合い、共有する。
・５Ｗ１Ｈを明確にして報告し、事実と感想を分けて取材内容を正確に伝え合う。

第６学年　理科「人と環境との関わり方」

① 本時の主眼

理科で、地球には様々な環境問題があることを、本を通して学んだ子どもたちが、地球温暖化が地球環境に及ぼす影響について考える場面で、新聞記事を読み持続可能な環境との関わり方を多面的に調べる活動を通して、人と環境との関わり方の工夫について考えを持つことができる。

② 理科とのつながり

「生き物と自然」の範囲で、生きていくために必要な水や空気および食べ物は、循環して生物と関わりを持っていることを学習した。その発展学習として、生物と持続可能な環境との関わりについての理解を図り、関わり方の工夫について妥当な考えを作り出すために、「地球温暖化」をテーマとして人々がどのような取り組みを行っているかを学習し、人の生活が環境に及ぼす影響を少なくする工夫や、環境から人の生活へ及ぼす影響を少なくする工夫、よりよい関係を作り出す工夫等、人と環境との関わり方の工夫について考えていくことにつなげていきたい。

③ 指導上の留意点

・新聞紙面全体から必要な記事や情報を得る時間は、授業中では確保できないため、あらかじめ教師が提示する記事を選ぶようにする。

・自分の考えや記事の読み取りは、ロイロノートを用いて行い、短時間で全体に共有することができるようにする。

④ 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	教師の支援　評価	時
導入	１．前時の活動をふりかえる。	・環境問題は地球温暖化や砂漠化などがあったね。 ・地球の平均気温は 1.5～2℃上がるだけで未来が大きく変わると書いてあったよ。 ・暑いのは嫌だし、これからも気温が上昇するなら、温暖化は防ぎたいよね。	・ロイロノートでまとめた環境問題の中から地球温暖化を取り上げた記事を取り上げ、関心を高めることができるようにする。 ・「地球温暖化は生活にどんな影響があるの？」と問いかけ、自分の経験から考えを持つことができるようにする。	10
	学習問題：地球温暖化を防ぐためには人と環境との関わり方はどうあったらよいか？			
	２．本時の学習の見通しを持つ。	・やっぱり地球は暑くなっていくのかなぁ。 ・夏休みに、新聞でも猛暑についての記事を読んだよ。 ・新聞からわかることについて詳しく調べてみよう！	・調べる媒体について問いかけ、その中から新聞記事を取り上げて、学習課題につなげる。	
	学習課題：地球温暖化に関する新聞記事を読み、人と環境との関わり方について自分の考えをまとめよう			

展開	３.信毎データベースから地球温暖化に対する取り組みを書いた記事を探し、読み取る。	・「地球温暖化」「取り組み」で検索すると、たくさんの記事があるね。 ・牛のゲップから出るメタンガスの排出を抑える餌の開発を行い、地球温暖化を防ごうとする企業があったよ。 ・ヘチマでたわしを作り、プラスチックを減らす取り組みをしている記事を見つけたよ。 ・地球温暖化を防ぐために、今の私たちにできるヒントになりそうだね。	・記事の読み取りが十分にできるように、キーワードを確認して、調べる内容を整理する。 ・例を一つ提示し、調べ方をテレビに共有してすぐに活動に取り組めるようにする。 ・新聞記事から気づいたことをロイロノートに記入し、すぐに共有できるようにする。	20
終末	４.学習問題に立ち返り、これから自分にできることについて考える。	・リサイクルを意識してごみの量を減らせば、二酸化炭素量の削減につながると思った。 ・窓を緑のカーテンで覆えば夏でも涼しく過ごせるよね。 ・ポスターで呼びかけていくことも大切だね。	・何名か全体で共有する。 **＜本時の評価＞** **調べた内容をもとに、人と環境との関わり方の工夫について、自分の考えをまとめることができる。（ロイロノート）**	15

（６） 児童の反応

① ４年生の授業では

・事前に、新聞社の出前授業で取材の仕方を学んでいたため、どの班も「５Ｗ１Ｈ」を明確にすることにより、具体的で分かりやすい報告を行うことができていた。そのため、取材した３店舗のこだわりについて、Ｓ児は「スプーンはお客さんの健康づくりのお手伝いをしている」とまとめ、Ｈ児は「ぞうさんは食べ物を捨てずに有効活用している」とし、さらにＫ児は「チロルは、お客さんのことを考えたり季節に合わせたケーキ作りをしたりしている」と、それぞれの特徴を事実に基づき報告することができた。

・子ども達は、各グループの報告を聞くことによって、それぞれの店舗のこだわりの違いに気づくとともに、「どの店舗もおいしい物をお客さんに届けたい、という気持ちは同じだ」（Ｄ児）という共通点も発見し、お店を経営する人たちの根底にある思いにも触れることができた。

・子ども達同士で報告し合い、友達の意見を聞いていく中で、「いろいろなことを知ることができた。お店の大変さやどうしてパンを作るのか、などもっと質問したいことが増えたので、もう一度取材したい」（Ｋ児）という感想も多く聞かれ、個々の探究心が刺激されたことは間違いないのではないか。「自分たちがパンを作る時には４－３のこだわりを入れて作りたい」（Ｄ児）とあるように、今後のパン作りに向けても、子ども達の願いや期待が大いに膨らむ授業であった。

② ６年生の授業では

・朝読書の時間に信毎データベースを活用して新聞を読む習慣をつけていたため、地球温暖化に対する人の取り組みについての記事を探すときに、検索機能を用いてスムーズに見つけて、

要約することができた。
・子どもたちがグループごと記事を共有することで、地球温暖化に対する人と環境との関わり方が様々であることに気づくとともに、「電気を節約する」（G 児）「水を使いすぎない」（O 児）という自分たちが身近にできる活動を考えることができた。

（７） １年間取り組んだ成果と課題

メディアセンターに新聞コーナーを作ったり、記事に関係したクイズを出題したりすることで、児童が自ら新聞を手に取る姿が多く見られ、全校児童･職員が新聞に触れ・親しむ機会を増やすことができた。また、授業の中で新聞を教材として扱うと、予想していた以上に子どもたちの興味関心が高く、文字の並びや写真から新聞のおもしろさを感じている様子がみられた。環境や出合わせ方を工夫することで、新聞が子どもたちにとって身近なものになることを感じた。

４年生は、NIE 推進委員の方に出前授業をしていただき、取材の仕方や記事として伝えるための方法を学んだ。プロの教えには説得力があり、子どもたちは興味を持って楽しく学ぶことができた。教えていただいた取材（質問）の仕方は、今後の学習においても様々な教科や場面で活用されることが期待できる。

課題は、新聞の有効な扱い方に『各教科の力をつけるために』という視点を持たせること。そして、子どもたちに年間を通じて新聞に興味関心をもたせることを課題として、次年度の研究を深めていきたい。